

新年おめでとうございます。今年も「皮膚科の臨床」をよろしく願いいたします。
初めての診断を下した患者さんには、可能な限りその病名を告げるようにしています。そのほうが「丁寧に説明してくれる医者」、「診断に自信がある医者」と評価してもらえるのではないかと思いますし、正確な病名がわかれば多くの患者さんはネット検索をしますので、疾患についてのより深い理解につながると考えるからです。口頭で病名を告げるだけではすぐに忘れてしまいますので、病名を書いた紙片を渡すことにしています。

私が紙に書く病名のなかで多いのは、皮脂欠乏性湿疹と脂漏性皮膚炎です。前者については、「加齢により皮膚のアブラが減って乾燥気味になり、過度の乾燥に耐えきれなくなると皮膚に炎症がおきた」と説明すれば、まさに読んで字の如しと納得してもらえますが、後者の場合はそうはいきません。病名を書いて渡した途端、「脂肪分の摂り過ぎが原因でしょうか」という質問が来ることになるので、それに先んじて「アブラが漏れると書きますが、これは医学用語としてそうになっているだけで、皮膚からアブラが漏れているわけではありません」と説明しておかなくてはなりません。

困るのはこの両者が合併している患者が多いことです。両疾患の合併が多いことについて教科書には触れられていませんが、多くの実地医家の皆さんには経験的にご賛同いただけるのではないかと思います。両疾患の合併について直接論じた論文は私の知る限りありませんが、HIV 感染者に脂漏性皮膚炎と皮脂欠乏性湿疹が生じやすいことはよく知られていますし、脂漏性皮膚炎に乾皮症を伴いやすいことを示した論文も複数ありますので(Br J Dermatol, 178:148-153, 2018 など)、根底に共通の発症基盤があることがうかがえます。しかし漢字での字面だけ見れば、完全に両立しえない疾患のように思えますので、一般の方には不思議に思われて当然です。

両疾患を併せ持つ患者さんにこの2つの病名を一枚の紙に書いて渡すと、「一体私にはアブラが足りないのか、多すぎるのか」といった当然の疑問が生じ、患者さんは混乱します。そこで「病名にある脂肪が足りない、あるいは漏れているというのはあくまでも皮膚表面の状態のことを言っているのだから、全身的な脂肪の量とは直接の関係はありません」と話すことにしていますが、どこまで納得してもらえているかわかりません。

宣伝になってしまっただけはなはだ恐縮ですが、小誌 2021 年 6 月臨時増刊号「診察室での患者さんの質問に答えます」では、患者さんからの素朴な質問に対しどのように答えるのがよいか、多くの専門家に解説していただいております。読者諸賢の日常診療に大いに役立つ内容になっているものと自負しておりますので、ぜひ一度お手にとっていただければと思います。
(相馬良直)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第 64 巻 第 1 号 1 月号

2022 年 1 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

年間購読料金

定価 47,630 円 (本体 43,300 円 + 税 10%)

〔年間 13 冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。